

歯学部教育理念

九州大学歯学部は高度職能人としての歯科医師を養成し、歯科医療や歯学の教育・研究におけるリーダーとして国内外で活躍できる優れた人材を育成することを教育理念とする。歯学部における教育は、高い倫理観、豊かな人間性、ならびに高い国際性を有する高度な専門知識と臨床能力を備えた歯科医師あるいは歯学研究者を養成し、口腔の機能改善と構築に幅広く貢献し、「口腔から全身の健康に貢献する」ことを実践することができ、国際的にも活躍できる指導的人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

九州大学歯学部では、学力に優れていることに加え、九州大学教育憲章に基づき、秀でた人間性、社会性、国際性を有し、医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観を有し、自律的な学究を指向する人材を求めている。そのため、入学試験では多様な価値観をもった幅広い人材が選抜できるよう、学力を主たる判断基準とした一般入試（前期日程）に加え、優れた学力と共に歯科医療に対する使命感、探求心、創造性、論理的思考力、生命体への関心と深い愛情などの資質をも選抜評価基準に採用した総合評価方式による特別の選抜（アドミッション・オフィス入試、略称AO入試）及び一般入試（後期日程）を実施する。

ディプロマ・ポリシー

九州大学歯学部は、九州大学教育憲章に基づいて策定されたカリキュラムに則り歯科医師・歯学研究者となるために必要な学習目標を達成し、別に示した求められる資質をすべて有する者に歯学士の学位を授与する。

1. 知識・理解

- ① 人体、特に顎顔面口腔領域の構造、機能および機能制御機構を巨視的構造レベルから遺伝子・分子レベルまで階層的・統合的に理解し、説明する。
- ② 人体、特に顎顔面口腔領域の発生、成長発達ならびに加齢変化を巨視的構造レベルから遺伝子・分子レベルまで階層的・統合的に理解し、説明する。
- ③ 人体ならびに顎顔面口腔領域に発生する感染症、疾患、形態・機能異常ならびにこれらに伴う障害をあらゆる生物学的側面から説明する。
- ④ 歯科医療および歯科医学研究を実施するための法的根拠、規律、規範、患者の権利、歯科医師の義務について説明する。

- ⑤ 顎顔面口腔領域に発生する疾患、形態・機能異常ならびにこれらに伴う障害の診断、治療に必要な検査法、診断法、治療法ならびに治療材料について説明する。
- ⑥ 各種検査、治療あるいは治療に用いられる薬剤、材料に対する生体の反応を理解し、それらの効果と為害作用、ならびにリスクを説明する。
- ⑦ 顎口腔領域の診療を行う上で知っていることが必要な全身疾患や、感染症などの症状等について理解し、歯科医療上の対応について説明する。

2. 技能

1) 専門的能力

- ① 患者の話に傾聴し、患者の訴えを共感的に理解する技能を身につける。
- ② 顎顔面口腔に発生する様々な疾患、形態・機能異常、ならびにこれらに伴う障害について、適切な検査法を選択して問題点を抽出し、診断する能力を身につける。
- ③ 顎顔面口腔の疾患、形態・機能異常、ならびにこれらに伴う障害に対して、患者の持つ社会的、個人的背景をも考慮しながら治療計画を立案する技能を身につける。
- ④ 歯科医学研究、歯科診療に用いられる各種薬剤、器材・器具、機器等を正しく取り扱う技能を身につける。
- ⑤ 一般歯科医として必要な基本的診療技能を身につける。
- ⑥ 各種卒後専門教育プログラムにおいて、各種専門的歯科診療を学ぶための基本的技能を身につける。

2) 汎用的能力

- ① 知識を統合的に把握する能力を身につける。
- ② 診療に必要な情報を的確に患者から導出し、それを分析し、最良の診療に向けての的確な行動を取る能力を身につける。
- ③ 表現能力とコミュニケーション能力を鍛え、広く世界と交流する視点を養う。
- ④ 最新の科学情報、歯科医学情報、歯科医療行政関連情報を的確に収集する技能を身につける。
- ⑤ 一般に分かりやすく、専門的知識、技術等を説明する表現能力を身につける。
- ⑥ 金属や樹脂などの微細加工技術を身につける。
- ⑦ 英語を用いたコミュニケーション能力を身につける。

3. 態度、指向性

- ① 医療チーム・歯科医療チームの歯科医師としてチーム医療を支え、患者の QOL 向上に貢献する。
- ② 患者の訴えを共感的に傾聴し、患者に分かりやすい説明により、適切な **informed decision** を形成する歯科医療を実践する。
- ③ 歯科医学のみならず、ひろく人文科学、社会科学ならびに自然科学についても興味を持ち、歯科医療の発展に貢献する。
- ④ 医療人として節度を保ち、自己犠牲と奉仕の精神を備える。
- ⑤ 常に最新の歯科医療技術および知識を探索し、批判的に吟味し、新たな専門的知識・

技術を身につけ、可能な限りエビデンスに基づいた歯科医療を生涯にわたり実践する。

- ⑥ 歯科医学研究チームの一員として、自身の知識・技能を活用し、歯科医学の発展に貢献する。
- ⑦ 自らの診療能力を客観的に評価し、患者が適切な医療・歯科医療を受けることができるように適切な情報提供を行う。
- ⑧ 歯科医療・医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域の保健・利用・福祉・介護および行政と連携協力し、地域医療の向上に貢献する。

カリキュラム・ポリシー

歯学部では、歯科医療および歯学に関連する幅広い知識を身につけるために、歯科基礎医学、臨床歯学のみならず、医療系統合教育や医学教育も含め、各専門分野における徹底した集団指導により、以下に掲げる歯科医師・歯学研究者に求められる資質を涵養することを目指す。また、能動学習を主体とした自律的学習態度を身につけて生涯研修の能力的基盤とし、専門科目で身につけた知識や技能を統合するための総合科目を設定して多様な教育方略を採用するとともに、形成的評価により自分の学習到達度を確認しながら学修を進めることのできる体系的なカリキュラムを提供する。

1. 豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、顎顔面口腔領域の健康を通じて人の命と生活を守る歯科医師としての職責を自覚する。
2. 患者さんとその家族の秘密を守り、歯科医師の義務を果たし、医療倫理を遵守するとともに、患者の安全と安心を最優先し、常に患者さん中心の立場に立つ。
3. 歯科医療の内容を分かりやすく説明し、患者さんやその家族との対話を通じて良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。
4. 医療チームの構成員の1人として、相互の尊重とともに、次世代を担う後継者や周囲の学習者に対して指導を行う。
5. 統合された知識、技能、態度に基づき、自らの診療能力を正しく評価した上で、顎顔面口腔のみならず、種々の全身的、心理的、社会的状況に対応し、総合的に診療するための実践能力を有する。
6. 医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力する。
7. 歯学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と基礎的素養

を有する。

8. 歯科医師あるいは歯学研究者としてのキャリアを継続し、生涯にわたり自己研鑽を継続する意欲と態度を有する。

9. 広く世界に目を向け、国際的な視点で歯科医療・歯学の発展と普及に貢献する意欲と態度を有する。